

平成28年度夏季休業明け集会（H28. 8. 25）

○ 夏休み前集会（7／15）

○ 夏休みの過ごし方

ex. 「夏休まない、夏を制する者は受験を制す」（132期学年便り土屋T）  
苦手克服、アグレッシブに

ex. 「自分自身をしっかりと見つめ直す時間をとること」

私の経験 高3の夏、京都ひとり旅（親は良く許してくれた）  
高2の奈良・京都への修学旅行と京都大への憧れ（仙台、北海道も）  
京都大周辺・哲学の道、大原（三千院）源氏物語・平家物語  
比叡山 ユースホステル泊

ex. 「読書三昧、濫読の奨め」→「桑野文庫No.54」

○ 一冊の或る本について

△ タイトル『永遠の平和を願った春～16歳の横浜、満州、シベリア』

タイトルからすぐに類推可能「戦争関連だろう」

△ 著者 宗像照男、熊田<sup>とわ</sup> 兀、久保田親閑<sup>たかし</sup>

旧制安積中学58期（87歳）、残り二人は旧制田村中学

日本大学専門部工科（建築、工業化学）（現在の工学部）の第1回卒業生  
3名とも戦争を実体験。

「戦争の実体験を持つ国民はわれわれを最後にしなければならない。

このことを現代の、そして将来の高校生に伝えようではないか」

「国民を巻き込んだ戦争がいかに悲惨で、心身ともに人間を傷つけるものであり、将来にわたって繰り返してはならないことを伝え、残したい。七十年前、今では考えられないことが起こっていたことを子どもたちに伝えるのが、“あの道”をたどってきた者の使命」

（「まえがき」から）であると考えて筆を執ってまとめた小冊子。

ふくしまの復興と将来の日本を担っていく高校生達に是非読んで頂きたく、福島県の高等学校全校に寄贈するもの。この小冊子と私たちの思いを届けるために、福島県教育委員会を訪問8／2

○ 福島県立高等学校 安積と田村のみ10冊ずつ

全日制課程本校 84校×4冊＝336冊

分校 5校×3冊＝15冊

定時制課程 2校×4冊＝8冊（郡山萌世、いわき翠の杜）

5校×3冊＝15冊（福島中央、白河二、会津二  
福島工業、保原）

計 374冊

□ 福島県私立高等学校

17校×4冊＝68冊